

コンクリート補修工法（表面被覆工法） ガイメックモルタル工法 （微弾性モルタル）

NNTD登録番号：1353

株式会社ガイメック

〒939-0624 富山県下新川郡入善町青島884

TEL 0765-72-3718 FAX 0765-74-2443

URL <https://www.gaimeck.co.jp/>

mail gaimeck@ma.mrr.jp

【拠点】東京事務所（〒279-0026 千葉県浦安市弁天2-10、TEL.080-5648-7363）



施工前



施工後

施工例（富山県高岡市 用水路の補修・補強工事）

概要

特殊セメントにアクリル系ポリマーを配合した、微弾性の次世代型コンクリート補修・補強材。無機系材料（セメント）と有機系材料（ポリマー）を掛け合わせた複合材で、無機系の欠点を有機系が補い、有機系の欠点を無機材料が補う新しい材料である。耐久性・耐水性・耐候性・耐寒性に優れ、かつ柔軟な塗膜を形成する。素材を選ばない強力な接着力を持ち、温度変化・紫外線・塩害にも強い材料である。

特長

1. カーボン繊維をしのぐ引張り強さを有する超高分子量特殊繊維を配合。この繊維は、耐摩耗性・耐疲労性・衝撃吸収性・耐光性・耐薬品性に優れ、吸水による劣化がないという特長を持つ。
2. 有機繊維としては最高レベルの強度・弾性率を有し、同じ重さで比較するとピアノ線の約8倍の強さを持つ。
3. 0～30mmまでの付着力は特に優れ、大型トラックが毎日通行しても剥がれない（8年以上の実績あり）。
4. 現場で水を混入することなく、ガイメックモルタル25kg/袋に対し、ガイメックハイコート5kg/袋のみ混入することで高強度・高品質を保つ。
5. 高靱性繊維により、靱性・凍結融解抵抗性・耐摩耗に優れ、せん断破壊はせず、ひび割れを大幅に抑制し拡大させない。

用途

- ・コンクリート構造物のひび割れ補修工・断面修復工・下地調整工
- ・コンクリート構造物の中性化防止、塩害防止、凍害防止、アルカリ骨材反応の抑止
- ・用水路の漏水補修・コンクリート構造物の表面クラックによる浸透水の防止

施工手順



①高圧水による洗浄



②欠損部のモルタル補修



③プライマー塗布



④モルタル塗り準備工



⑤モルタル塗り工



⑥養生・完了

標準配合

	ガイメックハイコート	ガイメックモルタル	練上がり量
1袋単位の配合	5リットル 5kg(1袋)	25kg(1袋)	30kg (13.5リットル)
1m ² 当たりの配合	370リットル 370kg(74袋)	1,850kg(74袋)	2,220kg (1,000リットル)

〔薬液配合〕

ガイメックハイコート：ガイメックモルタル=1.0kg：50.kg（重量比）